

原料費調整制度に基づく2026年4月検針分のガス料金について

1. 2026年4月 検針分の料金表

- (1) ガス小売供給約款契約料金表（福島支社・茨城支社・茨城南支社地区）
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

	(税込)			
	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量(m ³)	0～24	24～102	102～501	501～
基本料金(円/月)	913.00	1,193.50	1,468.50	6,383.63
調整単位料金(円/m ³)	209.11	197.42	194.73	184.93
【参考】前月調整単位料金(円/m ³)	(195.14)	(183.45)	(180.76)	(170.96)

(2) 標準家庭における影響

	(税込)		
1か月のご使用量 [※]	2026年4月ガス料金	2026年3月ガス料金	差額
23m ³ (45MJ)	5,722円	5,401円	321円

※1か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭1件当たり使用量の平均値です。

■ 標準家庭料金の計算方法

$$\text{2026年4月ガス料金(円:税込)} = \text{基本料金(円)} + \text{単位料金(円/m}^3\text{)} \times \text{ご使用量(m}^3\text{)}$$

$$5,722 = 913.00 + 209.11 \times 23$$

$$\text{単位料金(円/m}^3\text{)} = \text{基準単位料金(円/m}^3\text{)} + \text{単位料金調整額(円/m}^3\text{)} - \text{支援単価(円/m}^3\text{)}$$

$$209.11 = 208.10 + 7.01 - 6.00$$

2. 原料価格の変動

(1) 原料価格の実績

算定期間		2025年11月から2026年1月	
平均原料価格	卸供給		85,890
	LNG		85,940
	LPG		79,770
			85,910 (a)
基準平均原料価格			78,400 (b)
差額 (a-b)			7,510

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

(2) 単位料金調整額の算定方法

■ 平均原料価格の算定

$$\text{平均卸供給価格} = 85,890\text{円/t} \times 0.5930$$

$$\text{平均LNG価格(貿易統計値)} = 85,940\text{円/t} \times 0.4021$$

$$\text{平均LPG価格(貿易統計値)} = 79,770\text{円/t} \times 0.0053$$

$$\text{平均原料価格} = 85,910\text{円/t} \quad (10\text{円未満四捨五入})$$

■ 原料価格変動額の算定

$$85,910\text{円/t} - 78,400\text{円/t} = 7,510\text{円/t} \quad (100\text{円未満切り捨て})$$

■ 単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = 7,510\text{円/t} \div 100\text{円/t} \times 0.085\text{円} \times 1.10$$

$$= 7.01\text{円} \quad (\text{小数点第3位以下切り捨て})$$

■ 政府の支援反映後の単位料金調整額 (m³あたり調整額)

$$= 7.01\text{円} - 6.00\text{円/m}^3 \text{ (支援単価)}$$

$$= 1.01\text{円}$$

【参考】原料費調整制度の概要

■ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
 ■ 「基準平均原料価格(78,400円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m³当たり0.085円(税抜)の単位料金を調整いたします。
 ■ 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。